

令和7年度 第1回 舞阪中学校 学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年4月21日（月） 14時00分から15時40分まで
- 2 開催場所 舞阪中学校 1階 会議室
- 3 出席委員 片山 幸一、小内 正枝、江間 雅尾、佐々木 雄一、山下 利恵
- 4 欠席委員 鈴木 孝一、片桐 美恵子、澤井 清香
- 5 オブザーバー 河合 一徳（舞阪協働センター支所長）【欠席】
- 6 学 校 松井 麻紀子（校長）、松下 宏幸（教頭）、田岡 忍（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 田岡 忍
- 9 会長の選出及び副会長の指名

司会の松下教頭から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、江間委員から片山委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された片山委員から、小内委員を副会長に指名する旨の報告があった。

10 議長の選出

議長は前回会議（昨年度第4回）の経緯より、佐々木委員が務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）学校運営の基本方針について
- （2）舞阪中学校いじめ防止基本方針について
- （3）学校運営協議会 今年度の目標について
- （4）夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について

12 会議記録

司会の松下教頭から、委員総数8人のうち5人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校運営の基本方針について

議長の指示により、松井校長から、今年度の学校運営基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・コロナで寂しくなってしまった町をもう一度活気づける為に、『舞阪で育ち、舞阪を支える』という言葉は、シンプルでいいと思った。（小内委員）
- ・学習面、生活面において、基礎基本が大事であると思う。（小内委員）
- ・自分が先頭に立って、積極的に行動する生徒が少ないと思う。（片山委員）
- ・生徒にも、町内の施設をもっと知ってもらい、防災意識を高めていきたい。（片山委員）
- ・学校内で色々な所に【ここで地震が起きたらどうする？】という掲示が、様々な場面を考える訓練になっていいと思った。（片山委員）

- ・舞中防災の日での、起震車やスモーク体験は、地域防災で体験することが難しいので、いい体験になっていると思う。(江間委員)
- ・水曜日に持ち帰って行うタブレット学習はどんな成果がでているのか。(江間委員)
- ・舞阪の子供たちは、消極的な子が多いので、これから社会に出ていく上で心配である。(山下委員)

協議の結果、松井校長の学校運営基本方針は、全員異議なくこれを承認した。

## (2) 舞阪中学校いじめ防止基本方針について

松下教頭から、舞阪中学校のいじめ防止基本方針について説明があった。委員からの発言は、以下の通りである。

- ・ネット社会ということもあり、感情リテラシーが乏しく、相手にうまく伝えることができず、いじめにつながってしまうことがある。(片山委員)
- ・小学校で起きたいじめ問題が未解決で中学校に上がった場合はどうするのか。(片山委員)  
→小学校の教員と連携し、定期的に情報交換などを行い、解決に努めている。(松下教頭)

## (3) 学校運営協議会 今年度の目標について

松下教頭から、学校運営協議会 今年度の目標について説明があり、委員の発言は、以下の通りである。

- ・授業参観に積極的に参加して、子供たちの様子を見た上で、熟議に参加したい。(小内委員)
- ・部活動の地域移行がなかなか難しい問題だが、少しでも早く解決するように願う。(片山委員)

## (4) 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について

松下教頭から、夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について説明があり、委員は全員異議なくこれを承認した。

## その他報告事項等

松下教頭から、以下の説明があった。

- ・学校運営協議会自己評価実施要項についての説明があった。
- ・最近の生徒の様子は、自分から挨拶をする生徒が増えていると報告があった。

田岡CSディレクターから、次回の会議は、令和7年7月9日(水)午後2時から1階会議室で開催する旨の報告があった。

第2回議長の選出について、片山委員が務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。